岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　国道182号外道路災害復旧事業に伴う業務委託（一般国道182号）

事業・工事名

調査目的及び調査対象　道路　地すべり・斜面崩壊

ボーリング名	Bor.No.3-2	調査位置	広島県神石郡神石高原町地内	北緯	34°46’12.7300″
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	平成30年 9月13日～平成30年 9月14日	東経	133°16’55.6000″
調査業者名		主任技師		現場代理人 / コア鑑定者 / ボーリング責任者	
孔口標高	412.80m	角度	180° 上 90° 下 0°	試錐機	東邦地下工機D-0
総掘進長	8.00m	方向	北0° 90°東 180°南 270°西	エンジン	ヤンマーディゼルNFD-13
地盤勾配	水平0° 鉛直90°			ポンプ	東邦地下工機BG-3

標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分
409.10	3.70	泥岩	明褐～褐	w5	h1	E	Ⅶ	d	DL
408.30	4.50	泥岩	明褐	w5	h1	E	Ⅵ	d	DL
408.00	4.80	泥岩	明褐	w4	h1	D	Ⅳ	c	DH
407.30	5.50	泥岩	明褐	w5	h1	E	Ⅵ	d	DL
407.00	5.80	泥岩	明褐	w4	h1	D	Ⅳ	c	DH
405.30	7.50	泥岩	明褐	w5	h1	E	Ⅴ	d	DL
404.80	8.00	泥岩	明褐	w4	h1	D	Ⅳ	c	DH

コア採取率（%）・最大コア長（cm）・RQD［%］

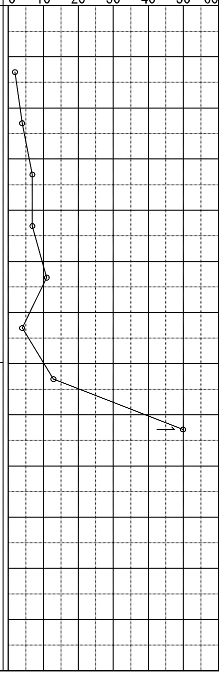
区間	最大コア長[RQD](コア採取率)
0-1m	0[0](100)
1-2m	0[0](100)
2-3m	0[0](100)
3-4m	0[0](100)
4-5m	0[0](100)
5-6m	12[12](100)
6-7m	0[0](100)
7-8m	7[0](100)

記事

- 全体的に角礫が30～40%位混る、砂礫状を呈する。原岩組織はほとんどない。粘性分がやや多く混る。
- GL-1.0m付近に植物片が混る。
- GL-3.6～3.7m付近は、礫混り粘性土。
- 破砕度区分はCr4。
- 全体的に風化している。
- GL-3.7～5.8m付近、やや硬質。
- コアは短柱状～礫状を呈する。
- 不規則な角度で亀裂が入る。
- GL-5.8～6.0m付近は角礫状を呈する。
- GL-6.0m以深は、やや硬質となる。
- コアは短柱状～礫状が主体となる。

孔内水位／測定月日：9/13　6.98

標準貫入試験



深度 (m)	N値	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1.15～1.45	2	2/300		
2.15～2.45	4	4/300		
3.15～3.45	7	7/300		
4.15～4.46	7	7/310		
5.15～5.48	11	11/330		
6.15～6.45	4	4/300		
7.15～7.45	13	13/300		
8.15～8.42	50以上	50/270	270	

削孔状況

削孔月日	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa) / 回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
9/13～9/14	66／ケーシング	S／MC	100.80	1.0	W3 12.0	0.0
				1.0	W3 12.0	6.0～12.0
				1.0	W3 12.0	2.0